

人生ハンド仏句

第161号
H. 27. 8. 1
(毎月1日発行)

魂を磨く(三)

住職 谷川寛俊

人生とは魂を磨き、心を磨く道場
なのではないかと思っています。し
かし、その様に考えて心を磨こうと
思っても、実際はなかなか上手くい
かないのが人間です。善き思いを抱
こうと思っても「儲かるかどうか」、
「自分にとって都合が良いか悪いか」
といったくだらない思いで、ついつ
い行動してしまうのが人間というも
のです。そうした悪い思いが出てき
た時には、その思いをモグラ叩きの
様にして叩き、抑えていくことが重
要になります。そのようにして、日々
反省していくことが、心を磨く為
は不可欠なことだと思えます。
修行をして素晴らしい悟りを開い

たような人になる事が出来れば良いの
ですが、我々凡夫が厳しい修行を積み、
立派な人格者になることは難しいこと
です。しかし人格を高めていこう、自
分の心や魂を立派なものにしていこう
と、繰り返し繰り返し努力をしていく。
その行為そのものが尊いのではないか
と私は思っています。つまり、いつも
自分の心の中に、善い思い、優しい美
しい思いが出てくるように、もし邪な
ものが出てきた時には、「コラッ！」と
言って自分で怒って、それを抑えてい
く。それは毎日毎日あなたも賽の河原
の石を積むようなものかもしれません。
高く積み重ねないかもしれませんが、毎日
そういう努力をしていくのが尊いので
はないかと思っています。
皆さんも、ぜひ人生という道場の中
で、善き事を思い、善き事を行うよう

務めて頂きたいと思えます。その事に
よって、皆さんの心や魂が磨かれてい
きますし、そうして磨き上げられた美
しい心で描いた思いは、自分の人生を
必ず素晴らしいものへと変えていくは
ずです。
繰り返し申し上げます。この自然と
いうものは、全ての皆さんが素晴らし
い人生を生きていけるように作って
れております。本来、この世の中に、
もともと不幸な人などいないはずだ
いてはならないはずです。そういう風
に自然は作ってくれているのです。
我々が、どういう心構えで、どうい
う考え方で人生を生きていけば良いの
かということ、自然は我々に教えて
くれています。自然が意地悪をして、
我々の人生を曲げているのではありません。
我々の人生は、我々の心のまま

「人生ハンド仏句」
と打ち込んで頂けば、ホ
ームページにつながりま
す。
編集・発行
玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268
携帯 080-3744-2523
こちらの番号でもお寺につ
ながります。

になるようにつくられています。そ
して、やがてこの現世から別れる時
に、たとえ恵まれた人生でなかった
としても「自分の人生は良かった。
この人生は魂を磨くことの出来た素
晴らしい人生であった」と思えるよ
うな生き方をしてほしいものです。
当欄六月号〜三ヶ月に亘り、私が
最も尊敬する実業家の一人、稲盛和
夫氏（現・KDDI創業者。日本航
空名誉会長）の御講演『人は何の為
に生きるのか?』の要旨を記してま
いました。仏教信仰に篤い稲盛氏
の人生に対する理念から、少しでも
皆様の生きる為のヒントが見出され
たならば甚幸に存じます。
皆様の人生に幸多からん事を祈念
して…

